

## 第 28 回 北海道古民家再生協会会員の会例会 議事録

記録日：2012年12月25日

記録者：江崎 幹夫

団体名	一般社団法人北海道古民家再生協会会員の会 例会
開催日時	2012年12月22日(土) 15:30～17:00
開催場所	札幌エルプラザ OA研修室
出席者	会員 江崎、齋藤、薄田、石川、高田、横山 オブザーバー 古澤、瀬川、登、吉田、山本、橋本、谷野(※敬称略)
議事	<p>1) 開会のことば 北海道古民家再生協会・理事長 江崎幹夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・師走のお忙しい中、又、多雪で足元の悪い中を多くの方に参加して頂き、感謝致します。</li> <li>・会員の会全国大会、日建学院受講料の割引、商材の紹介について。</li> </ul> <p>2) 「古民家とデザイン」 (工業デザイナー 登豊茂男氏)</p> <p>古建築とデザインについて講演され、海外、特にイタリアに在住していた時、日本の古民家・古建築等が、とても質が良くて人気があること、今後古民家・古建築を通して日本の伝統と文化を継承する「コト」が大切との話がされた。</p> <p>3) 「住育について」 (石川圭子氏)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道初の住育コンサルジュ石川氏より、住育の必要性和大切さについての講義。</li> <li>・北海道で初めての住育検定の講義・試験が2月24日に札幌エルプラザ環境研修室で開催される。</li> </ul> <p>4) 古民家調査報告 : ①小樽・旧渡辺邸 ②浦臼・T邸</p> <p>①最も古い部分で築100年、新しい所で築70年。軟石の蔵があり、又、和洋折衷のとても趣のある古民家である。来春までに買い手がつかなければ、解体される。</p> <p>②築70年の納屋と築55年の母屋で、棟札が残っていた。来春、環境に配慮した手ほどき解体予定である。</p> <p>5) 北海道伝統資財再生機構 齋藤代表理事からのお知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小樽の築100年の古民家から取り出された古材がストックされ、計24本の古材がストックされた。</li> <li>・これからも多くの伝統資財を残す活動を進めていく旨を報告した。</li> </ul> <p>6) ブログ・ホームページを見て初めて参加された方の自己紹介があった。</p> <p>7) 審議事項</p> <p style="padding-left: 2em;">次回例会…1月19日(土) 18:00 宮の沢若者活動センター 活動室B</p> <p>8) 閉会のことば</p>
決定事項	次回例会1月19日(土) 18:00 宮の沢若者活動センター活動室Bにて行う。
次月開催日時	2012年1月19日(土) 18:00～19:30
次月開催場所	宮の沢若者活動センター 活動室B
次月議事内容	次回議事録記録者 江崎 幹夫 ・各自報告事項 など

